

静かな空

連絡先 742-2602 山口県大島郡周防大島町油宇 福田忠邦 Tel+ Fax: 0820-75-1045

大島 爆音記録

11月13日

今日は朝から米軍機がさかんに飛んでいます。10時15分ころ、二階書斎で仕事をはじめたら、屋根の真上を轟音たてて飛行しました。機影も飛行方向も見えません。

10時29分ころまた1機飛行しました。轟音たてて頭の上を飛行しているときに、文珠山頂上の戸村さんから電話、「今飛んでるよ」というと、まもなく戸村さんの電話からものすごい音が聞こえました。彼は電話を傍らにおいて撮影にとりかかりましたが、その間中、山頂を飛ぶ轟音が受話器から聞こえました。

10時40分頃また飛行。窓を開くと、白木山から嵩山西側方向へ1機飛びました。後で聞くと、10時48分ハリヤーが文珠山上空を通過したとのこと。これで電話は終わり。その後もたびたび飛行しましたが、いつまでもつきあっている暇もないので、耳に栓をして仕事に専念。(日前住民)

戸村良人 写真報道 2014年11月13日 文珠山頂上にて撮影



10時17分 米海兵隊 F/A-18/D ホーネット 戦闘攻撃機(岩国基地) 登っている最中と、この文珠山頂上に着く前に、3度も轟音を聞きました。頂上に着いて約20分、あたまのすぐ上をとんできました。



10時18分 米海兵隊 F/A-18/D ホーネット 戦闘攻撃機(岩国基地) 文珠山上空で方向転換し、岩国基地へ。



10時29分 米海兵隊 F/A-18/D ホーネット 戦闘攻撃機 (岩国基地)



10時44分 全日空旅客機定期便



10時48分 米海兵隊 AV-8B ハリアーII 攻撃機 (岩国基地)



10時59分 米海兵隊 AV-8B ハリアーII 攻撃機 (岩国基地)、2機目



11時08分 米海兵隊 AV-8B ハリアーII 攻撃機 (岩国基地)、3機目



12時14分 海上自衛隊 P-3C 対潜哨戒機 オライオン (厚木基地)



12時27分 海上自衛隊 MH-53E 掃海・輸送機 シードラゴン (岩国基地)



12時44分 海上自衛隊 MH-53E 掃海・輸送機 シードラゴン (岩国基地)



13時24分 海上自衛隊 US-1A 救難飛行艇 (岩国基地)



13時51分 米海兵隊 KC-130J 空中給油機 スーパーハーキュリーズ (岩国基地)



13時52分 米海兵隊 KC-130J 空中給油機 スーパーハーキュリーズ (岩国基地)



14時27分 米海兵隊 UC-12F 輸送機 (岩国基地)



14時33分 海上自衛隊 U-36A 訓練支援機
(岩国基地)



14時38分 海上自衛隊 U-36A 訓練支援機
(岩国基地)



14時44分 全日空旅客機定期便です。上関、柳井、
由宇と海岸沿いに上空を通過して錦帯橋空港（米軍岩
国基地）に降りていきます。



14時52分 何回か、音はすれど姿が見えないという
ことがありました。これはかなり上空を飛んでいます。
なんとか姿だけは捉えられましたが、機種名などは判
りません。このような高さでは雲にかくれていたら、
見つけられないわけです。



15時07分 米海兵隊 UC-12F 輸送機
(岩国基地)



15時11分 米海兵隊 UC-35D連絡輸送機
(普天間基地)



15時23分 米海兵隊 UC-35D 連絡輸送機
(普天間基地)



15時26分 米海兵隊 UC-12F 輸送機(岩国
基地)



15時31分 海上自衛隊 UP-3D 訓練支援
機(岩国基地)



15時37分 海上自衛隊 OP-3C 画像データ収
集機(岩国基地)



15時45分 海上自衛隊 EP-3 電子戦データ
収集機(岩国基地)



6時09分 夕陽が美しい祝島方向。寒いのでそろそろ終わりにします。駐車場に移動する間にも飛行機の轟音が聞こえましたが。



手前右に愛宕神社前広場。その向こうの広大な造成地が米軍住宅予定地

瀬戸内ネット担当 **愛宕山を守る集い** 2015年12月21日

河井弘志（周防大島町）沖縄県民は最高手段によって、普天間を辺野古へ移転する計画を拒絶しました。共産党、社民党、社会大衆党が市民団体と連帯して、仲井真前県知事を退陣させ、辺野古移転に反対する翁長雄志氏を自分たちの県知事に選びました。

この偉大なる成果に加えて、今回の衆議院議員選挙では、共産党、社民党、生活の党、無所属の4人の候補者が、2位に4,700～33,600票の差をつけて当選し、いま本土で飛ぶ鳥をも落とす勢いの自民党の候補者は小選挙区で一人も当選できませんでした。これは昨年沖縄県議会議員、市町村長・議員の東京直訴の時の合言葉であった「オール沖縄」を貫いた選挙運動の成果です。

さて岩国ではどうであったか。先の市長選挙では各派の足並みがそろわず、今回の衆議院議員選挙でも、艦載機移駐反対の候補者2人が並び立って、2候補の得票数を合計しても68,929票で、当選した岸信夫氏の96,799票には28,000票近くの差をつけられました。それはいわゆるアベノミックスが作った時の流れのせいであって、岩国市民の努力で逆転できるものでなかったかもしれません。しかし沖縄県民が辺野古移転反対で県民の意思統一をして選挙に勝ったことを思うと、岩国は政策統一という点で沖縄に及ばなかったことも否定できません。

山口県知事と岩国市長は「普天間の移設と切り離して艦載機の移駐のみを進めることは認められない」と言っているといわれます。公文書でどういう表現になっているのかわかりませんが、普天間移転が実行されたら、岩国は黙って艦載機移駐を受け入れるという意味なら、私たち岩国市民にとっては、普天間基地が永久固定化された方がいいのだという、とんでもない話になりかねません。

それにしても最近、艦載機59機移転、愛宕山米軍住宅建設などにたいする議論が低調になってきたという印象があります。もう諦めたのでしょうか。岩国市と周辺自治体が米軍植民地みたいになっても、「米軍再編交付金

の充実・延長」を叫び続けるのでしょうか。

やっぱりここで奮起一番して、「オール沖縄」の教訓に学んで、「オール岩国」の行動をおこすべきでしょう。それは決して不可能でないことを、沖縄県民が教えてくれました。

田村順玄（岩国市） 建設常任委員会で執行部に質問しました。昭和34年に完成した三笠橋は、もとは「開かずのふみきり」といわれた踏み切りでした。橋ができて54-55年、老朽化したので、岩国市が2億数千万円かけて補修工事をやることになりました。岩国市は年間40億50億という防衛省の補助事業をやっていて、市役所もそれで建ったのですが、三笠橋の補修工事には防衛省の補助金は一銭も入ってません。

基地内の米軍再編工事の生コン車が三笠橋を通過して基地に入ります。委員会で「三笠橋を渡る生コン車はどれぐらいいるのか。資料提出せよ」と言ったら、平成25年の4月から今年の11月までの台数を調べてくれました。25年度1年間で32,480台、今年は4月から11月まで21,891台、合計54,000台ぐらいの生コン車が三笠橋を渡っています。これは片道だけで、帰りも生コン車が帰りますから。十何万台通ったわけです。これで三笠橋が老朽化した。これこそ基地にたいする補助事業でやるべきではないか。今の三笠橋工事は国土交通省の補助金事業で、50%補助です。防衛省の補助金だと最低75%出すそうです。岩国基地の再編工事のために壊されている橋を、市民の税金を沢山使って直すというのはおかしいじゃないか、と質問しました。そしたら村田審議官は、あまり因果関係がない、と答弁してつっぱねました。副市長が検討しなきゃいけないと言ったけれど、もう間に合う話じゃない。

米軍再編の補助金でできた楠中央公園は、川下デルタの避難場所になっていて、大きな道路を作ってるんですが、60-70メートルは地権者が土地を売ってくれないので、3500万円の予算を返上する議案がでました。何億もかけた楠中央公園に避難する道路が通れないのでいいのかと質問しました。

楠町の遺跡を発掘しているところに、基地のアクセス道路道路750メートルを50億かけて作るそうです。そういう工事は一生懸命やるそうです。

藤川俊雄（岩国市） 爆音訴訟は2月5日結審の予定で、来年は結審して、判決が出ます。

天野一博（岩国市） 守る会は1月1日に甘酒を用意し、大根、漬物も持ってきて、1年間の抱負を話し合う集会になったらいいなと思っています。

河合建夫（周防大島町） 大島から来ました河合です。吉井さんの足となって通ってるだけです。何も申す事はありません。

浅田（山口市） 山口連帯労働組合で活動、非正規雇用、セクハラ問題等の労働相談も。AWCに参加。沖縄の基地反対の風を本土に持ってきたい。

藤村友起（周防大島町） はじめまして。初めてきました藤村英子の孫です。座り込みというのは初めてきたのですけれども、こうやって毎月、毎週か、集まるというのは、すごいなあと思いました。ばあちゃんもこれがあるからしっかり長生きして、長生きできるのは怒りが原動力なんよ、と言っています。「安倍さんが倒れるまで、安倍さんを倒すまで、倒れられんね」と言っています。じゃ頑張りましょう。ありがとうございました。

藤村英子（周防大島町） 今言ったように、怒りでいっぱいなんです。安倍の野郎、卑怯な選挙の時は自衛権の集団的自衛権のことは一言も言わないで、信頼されたと言って早速始めようとしている。本当に戦争回帰への道をまっしぐらに行っているような気がします。戦争を知る者としては腹が立って仕方がない。その怒りで生きてるようなものでございます。

赤松（岩国市） 共産党 1,290 票増えて私には大きな力になりました。

大崎（廿日市市） 足になって廿日市から白い帽子の人を乗せて来る夫です。

大西（岩国市） 嬉しいのは沖縄小選挙区で 4 議席取ったことです。沖縄県知事選挙では 200 件電話をかけました。一致点でみんなが頑張っていく事が大切です。孫娘が無事に手術を終えて退院、希望が出ました。大西さん、もっと反対運動をしないと金がもらえないよ、という議員がいます。

松田ひで子（岩国市） 父は満州と南方に行き、運良く帰ってきました。父は政治が大嫌いでした。なぜ政治が嫌いだったのか。理解したい課題です

落合（岩国市） 1 人生活の父に介護申請をしたい。愛宕山の歌の「日本のために」では少し狭いので、「世界のために」にしたいと思います。

藤本博司（住民投票を力にする会） 沖縄で自民党が負けたことはマスコミはほとんど取り上げません。最近マスコミの報道がおかしい。愛宕山も艦載機来るなの運動も、全市民的運動にする必要があります。普天間が片づかないうちは先行移転は認めないと言ってますが、ここを追及すべきです。

板橋（山口市） 山口の板橋です。国会前の反原発集会、川内原発の大集会、秘密保護法でも国会を取り巻いたり、中央では政治が動いています。

坂本千尋（廿日市市） 戦争に行かせるためにわが子を産んだのではないのに、頭上を米軍機が飛んで、バカにされているような気がします。

戸村良人（岩国市） 最近は戦闘機が増え、土日曜もわんさと飛びました。

松田一志（住民投票を力にする会） 沖縄県知事選挙で、瀬長亀治郎の「不屈館」を見ました。愛宕山も不屈の精神を続けたい。

吉岡光則（住民投票力にする会） 中選挙区制か、完全比例代表制かの裁判が必要です。

（大島郡以外の方の発言は要旨のみとした。ご了承願いたい）

大島の静かな空を守る会協力金（自由意志）郵便振替 口座番号 01380-1-88949 名称 河井弘志



愛宕山に想う

周防大島町森 中尾久利

私は愛宕山に来るたび、いつも、平井県政時代、岩国の中島修三県議（共産党）が県議会で、岩国基地の沖合移設は、移設ではなく、基地の拡張工事であると質問したのを思い出します。中島県議の質問どおり、愛宕山を削り、岩国基地を拡張し、基地機能を強化し、愛宕山に米軍住宅を作る、まさに国と米軍の思いどおりに、事が進んでいます。中島県議が県議会で追及しているところに、岩国市民が立ち上がってほしかったと、いつも思います。戦いはこれからです。皆で頑張りましょう。

ヨーロッパでは米軍基地を閉鎖・返還

(朝日 2015.1.10)

米軍基地や施設 欧州で再編計画
15カ所を閉鎖・返還

米国防総省は8日、欧州に駐留する米軍の基地や施設15カ所を閉鎖・返還する再編計画を発表した。同省によると、計画は国防予算の削減方針に対処すると同時に、欧州駐留米軍の効率性を高めるのが目的で、再編によって年間5億ドル(約595億円)を節減できるという。

英ミルデンホール基地に駐留する空軍部隊3200人を撤収させ、欧州各地に分散させる。一方で、ステルス戦闘機F35を2020

岩国爆音裁判結審

2月5日山口地裁岩国支部の爆音裁判弁論が終了。

岩国弁護団 山田延廣
「米軍による基地騒音等により近隣住民が苦しんでいるのなら、国はまず米国と交渉して、この騒音被害を軽減させるために努力するのがその役目であろうところ、・・・お金を利用して住民を黙らせるという最も卑劣な手段を講じ続けている」

年から英国に配備する計画も明らかにした。両方の計画を合計すると、英国に駐留する米軍は約2千人削減されるという。

このほかドイツ、ベルギー、オランダ、イタリア、ポルトガルの米軍基地・施設を閉鎖してそれぞれの国に返還する。米軍は一連の再編計画を今後数年間かけて実施する予定だ。

ヘーゲル国防長官は「今回の再編は、欧州における我々の軍事力を最大化し、同盟国との協力関係の強化につながるものだ」と強調した。

(ワシントン)

これ以上沖縄を裏切ってはならない

藤村英子

普天間基地の辺野古移設反対をとなえて当選した翁長沖縄県知事が上京し、首相に面会を求めたが、拒否された。面会を拒否したばかりでなく、自分に気にいらぬからと、振興予算まで大幅削減した。

沖縄県民の度重なる辺野古移設反対の民意を一顧だにしないで、辺野古への移設を「粛々と」進めるといふ政府の行為は、民主政治にも、地方自治の精神にも倫理にも反する行為だと思う。

先日のニュースでは、反対の座り込みをしている人たちが、機動隊に排除される様子が写し出され、胸が痛んだ。

私は辺野古移設が決まったあとも、何度か現地を訪れた。その海を見、そこに座りこんでいる人たちに会ったとき、ああ、上関原発に反対している祝島の人たちと同じだと思った。

上関の海は、スナメリやカンムリ海スズメが生息し、数々の希少生物の宝庫で、究極の楽園と言われている。一方辺野古の海もジュゴンやサンゴが生息し、エメラルドグリーンに輝き、目を見張るばかりの海だ。その海を守ろうと、辺野古移設に反対の運動が浮上して、15年以上杭一本打たせないで頑張っていたのだ。

1995年の少女暴行事件のあと、普天間撤去の声が高まった時、橋本元首相は言った。「普天間は今後5年ないし10年の間に返還します」と。当然撤去することだと思った。そのかげで、もっと強大な基地を同じ沖縄につくる等、その時は想像できなかった。

私は14年前、沖縄に行った時聞いた若者の歌った歌が胸に突き刺さっている。節毎の最後に「くりかえされるうそ」の文言だ。

そう、沖縄県民が望んだ復帰の時の「核抜き本土並み」はうそだった。基地のない沖縄もまぼろしだった。

本土の捨て石とされ、多くの犠牲を出した沖縄戦について、当時司令長官だった大田中将は「沖縄県民かく戦えり。将来格別の計いあらんことを」の言葉を残して自害された。

この大田中将の遺言など、歴史を知らぬ首相は念頭にないようだ。

私は、沖縄の那覇市与儀公園に建てられている恒久平和を誓った憲法9条の碑と、その側に建てられた「・・・二度と戦争の惨禍のないことを祈念し、平和都市建設のシンボルとしてこの碑を建立する」という当時の那覇市長の碑を見た時思った。

あの苛酷な戦争体験があったからこそ、沖縄県民は9条の大切さを知っているのだと思った。

「沖縄の将来は沖縄の住民で決めたい。基地を、平和と人間の幸せにむすびつく生産の場に変えたい」と言われた元大田知事さんの言葉は脈々と引き継がれているのだ。

これ以上沖縄を裏切ってはならない。沖縄を苦しめてはならないと切に思う。